

三沢市立三沢病院での実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 池田潤基

私は2023年5月8日から6月2日までの4週間、外科で実習をさせていただきました。三沢病院での実習は、手技をたくさんさせていただけるとの話を伺っていたため、三沢病院で学んでみたいという気持ちで希望しました。

今回の実習で、回診では、ガーゼ交換やドレーンの抜去、抜鉤など、手術では、鉤引きや腹腔鏡カメラの操作、糸結び、埋没縫合、スキンステープラーによる縫合など多くの手技を経験させていただきました。その中で、見ているのと実際にやるのは違うということを痛感しました。特に、先生が回診でされていた手技を見た上で、自分がいざやってみると、スムーズにできないこともあり、先生方のサポートをいただきながら実施することもありました。その日のうちに、何ができて、何ができなかったのかということを確認しながら、自分が対応する際には、前もってしっかりと頭の中でシュミレーションすることが大切であると感じました。手術では、先生方の計らいもあって、解剖や手技について丁寧に教えていただき、とても理解が深まりました。物事を主体的に進めておられる先生方の姿を目の当たりにしながら、たくさんの刺激を受けたと同時に、手術の一連の流れを学ぶことができ、本当に良い経験となりました。



さらに、周術期では、回診やカルテを通じて、入院患者さんの状況を毎日しっかりと把握していく中で、適切な時期に適切な処置が行えることの重要性も大きな学びとなりました。手術では、執刀だけでなく、術野を見やすくするなどして手術を行いやすくする環境づくりも大切であることを勉強させていただき、術式の理解を深めていくだけでなく、先生の視点に立った考え方も意識していきたいと感じました。

普段から気さくに接していただき、「どんどん前にいっていい」という姿勢で後押ししてくださったことも、一つ自分の中で変化があった瞬間でした。実習生1人という利点を活かしながら、居心地の良い場を提供いただき、とても有意義な実習になりました。さらに、三沢病院は他科の先生同士や看護師の方々との交流も多く、とても魅力的な環境であると感じました。

外科の松本先生、池永先生、澤野先生、神田先生をはじめとする先生方、看護師や管理課の皆様、充実した4週間で過ごすことができ、本当にありがとうございました。担当させていただいた患者さんにも心より感謝いたします。この経験を今後の実習に生かし、立派な医師になれるよう精進していきたいと思っております。

2023.5.8～2023.6.2